



令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会

目次

目次	2
I. モニターツアーおよびFAMトリップの企画調整・運営業務	3
II. 文化芸術施設・団体等を対象にした講座・勉強会・意見交換会等の実施	20
III. 交通拠点等における効果的なプロモーションの実施	37
IV. 山本能楽堂特別開放	47
V. COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演	51

I .モニターツアーおよびFAMトリップ の企画調整・運営業務

令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

モニターツアーおよびFAMトリップの企画調整・運営業務

●本業務の実施方針

留学生など日本に在住する外国人によるモニターツアー及び国内外のエージェントを対象としたFAMトリップを企画・運営し、より多くの外国人から意見を聴取しながら、大阪の文化芸術コンテンツや環境整備を実施したコンテンツ等について検証を行う。

●実施内容【モニターツアー】

日時	2023年11月24日（金）～ 11月25日（土） 1泊2日
人数	19名+添乗員1名+通訳2名（英語・中国語）同行
対象者	日本在住外国人：欧米豪（英語）、台湾・香港（繁体字圏）
テーマ	<p><テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングだけでなく大阪の<文化芸術>を知っていただく ・大阪の伝統芸術（特に舞台芸能）に気軽に触れて、学んで、体験してもらい興味喚起する
目的	<p><共通目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設・コンテンツに係る評価・課題の洗い出し（興味関心、理解度、満足度、推奨度、ハード面の充実度など） <p><個別目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日客の視点で各国のニーズに合致しているか、市場性の考察

●モニターツアー参加者詳細

【年代】

● 20代	3
● 30代	8
● 40代	2
● 50代	4
● 60代	2

【性別】

● 男性	7
● 女性	12
● 答えない	0

【国籍】 ※五十音順表記

アメリカ	4	イギリス	2
カナダ	4	イタリア	1
台湾	3	ドイツ	1
フランス	3	ロシア	1

【職業】

エンジニア	モデル、俳優	プロジェクトマネージャー	英語教師
大学講師	幼稚園の先生、高校教師	企業の海外進出や転勤・異動に関するコンサルタント	英語教師
デザイナー	教師、通訳	イタリア語の講師	伝道師
広報担当	教師	IT	データアナリスト
講師		主婦	会社員

●モニターツアー日程

月日	時間	場所	内容
11/24 (金)	12:40	新大阪駅 集合	
	12:45	新大阪駅 出発	
		バス車内にて事業ブリーフィング	事業の趣旨、アンケート、意見交換会の説明
	13:30-15:15	◎山本能楽堂	能に関する様々な体験
	15:40-17:00	◎大阪城 天守閣見学	能楽と秀吉の関係についてガイドからご案内
	17:30-19:00	大阪市内にて夕食「味の丸」	たご焼きづくり
	19:30	クールジャパンパーク大阪 着	
	20:00-21:00	◎クールジャパンパーク大阪にて 特別夜間公演「和楽器の響き」鑑賞	河内音頭、琉球音楽、 和楽器エンタメショー
	21:45	ホテルへ移動	
	22:00	ホテル着	大阪東急REIホテル
11/25 (土)	9:30	ホテル発	大阪東急REIホテル
	10:00-11:00	◎大阪中之島美術館 見学	「テート美術館展 光 ターナー、印象派から現代へ」
	11:30-12:00	◎上方浮世絵館 (30分) Aチーム：浮世絵刷り体験 Bチーム：展示見学	
	12:10-12:40	◎上方浮世絵館 (30分) Aチーム：展示見学 Bチーム：浮世絵刷り体験	
	12:40-13:00	徒歩で移動 (約15分)	
	13:10-13:40	国立文楽劇場にてレクチャー (30分間)	「人形解説」について解説者 (技芸員) から解説
	13:45-14:15	国立文楽劇場で弁当昼食&イヤホンガイド配布	昼食：幕ノ内弁当
	14:15-14:50	◎国立文楽劇場 第二部鑑賞 ～ 奥州安達原 ～	公演時間：14:30-17:00終演
	15:10-16:30	意見交流会	国立文楽劇場の会議室
	17:00頃	新大阪駅 解散	

●実施内容【FAMトリップ】

日時	2023年11月24日（金）～ 11月25日（土） 1泊2日
人数	10名+添乗員1名+通訳1名（英語）同行
対象者	日本在住外国人対象：旅行業界、メディア業界に従事される方
テーマ	<p><テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングだけでなく<文化芸術>という大阪の新たな一面を知っていただく ・大阪で花開いた伝統芸術（特に舞台芸能）に気軽に触れて、学んで、体験してもらい興味喚起する
目的	<p><共通目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設・コンテンツに係る評価・課題の洗い出し（興味関心、理解度、満足度、推奨度、ハード面の充実度など） <p><個別目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のコンテンツ造成・ブラッシュアップにつなげるため、旅行業界、メディア等関係者からの流通の観点で評価、フィードバックをもらう。

●FAMトリップ参加者詳細

【年代】

● 20代	0
● 30代	3
● 40代	4
● 50代	2
● 60代	1

【性別】

● 男性	4
● 女性	6
● 答えない	0

【国籍】 ※五十音順表記

アメリカ	2	韓国	1
台湾	2	スイス	1
インドネシア	1	ブラジル	1
カナダ	1	フランス	1

【職業】

Tour guide / ツアーガイド・添乗員	3
Hotel and hospitality / ホテル・サービス業	2
Intercultural Consultant /Japan Travel Specialist / 異文化コンサルタント、訪日旅行専門家	1
Employee of gaming company/ Personal Tour Guide / ゲーム会社勤務、個人ツアーガイド	1
Freelance tour guide/PhD candidate / ツアーガイド、大学院生	1
Travel designer, guide, and journalist / トラベルデザイナー、ガイド、ジャーナリスト	1
Owner media and travel company / メディアおよび旅行会社のオーナー	1

●FAMトリップ日程

月日	時間	場所	内容
11/24 (金)	12:40	新大阪駅 集合	
	12:45	新大阪駅 出発	
		バス車内にて事業ブリーフィング	事業の趣旨、アンケート、意見交換会の説明
	13:30-15:00	◎大阪城 天守閣見学	能楽と秀吉の関係についてガイドからご案内
	15:30-17:15	◎山本能楽堂	能の体験
	17:30-19:00	大阪市内にて夕食「味の大丸」	たこ焼きづくり
	19:30	クールジャパンパーク大阪 着	
	20:00-21:30	◎クールジャパン大阪にて特別夜間公演「和楽器の響き」鑑賞	河内音頭、琉球音楽、和楽器エンタメショー
	21:45	ホテルへ移動	
	22:00	ホテル着	大阪東急REIホテル
11/25 (土)	9:00	ホテル発	大阪東急REIホテル
	9:30-9:45	中之島美術館	施設のご説明
	9:45-10:30	◎大阪中之島美術館 見学	「テート美術館展 光 ターナー、印象派から現代へ」
	11:00-11:40	◎上方浮世絵館 浮世絵刷り体験（初級）、展示室見学	体験：4階 展示見学：2&3階
	12:00-12:40	◎あべのハルカス展望台	※インスペクションのみ
	13:10-13:40	国立文楽劇場にてレクチャー（30分間）	「人形解説」について解説者（技芸員）から解説
	13:45-14:15	国立文楽劇場にて弁当昼食&イヤホンガイド配布	昼食：幕ノ内弁当
	14:15-14:50	◎国立文楽劇場 第二部鑑賞 ～ 奥州安達原 ～	公演時間：14：30－17：00終演
	15:10-16:30	意見交流会	国立文楽劇場の会議室
	17:00頃	新大阪駅 解散	

●コース設定の考え方

モニターツアーおよびFAMトリップのテーマおよび目的を踏まえ、下記の条件・内容を盛り込み、コースを決定した。

<選定条件>

- ・海外のお客様の興味をひくポテンシャルがあること
- ・公演関連は少なくとも英語案内があること（逐次通訳は難しいため）
- ・1泊2日という限られた時間を有効活用できること
- ・今回のモニター・ファム人数20名/10名の受け入れキャパがあること

<検討した文化芸術施設>

採用した施設、コンテンツ以外には下記の訪問候補を検討した。

受け入れの諸条件や空き状況等を考慮の上、結果的に実施した行程が最良と判断し実施した。なお、通訳案内士および社内海外エージェント担当にもヒアリングを行い今回ターゲットとする方が興味を持って頂ける可能性がある、という意見が多かったコンテンツ【歌舞伎】【浮世絵】【美術館】を中心に選定した。

- ・講談：言語的なハードルが高く、多言語での字幕等の環境整備が必要。
- ・漫才：英語で漫才ができる漫才師が不在。フランス語のみ可。
- ・落語（繫昌亭）：現在、英語落語をできる落語家はほぼおらず、モニターツアー実施日はすでに公演が決まっているためアサインは難しい。
- ・利晶の杜：大阪発祥の茶の湯文化を紹介。他ファムトリップでも複数回すでに受け入れ実績があり、新たな文化芸術の検証をするため今回のツアー企画から外した。
- ・歌舞伎衣装体験：大変おもしろそうだが、兵庫と京都のみで体験可能なため、今回のツアー企画から外した。
- ・大槻能楽堂：今回は山本能楽堂があるため外した。
- ・三味線体験（堺）：三味線発祥の地、堺で気軽に三味線体験が可能だが、最大5名まで。（FIT向け）
- ・日本舞踊体験：新世界で舞踊体験が可能、興味深い、大阪ならではの素材ではないため今回のツアー企画から外した。
- ・日本殺陣道協会にて殺陣体験：すでに人気コンテンツとして認知があり、新たな文化芸術の検証をするために今回のツアー企画から外した。

●文化芸術以外の観光地の選定理由

・大阪城

本ツアーでは、鑑賞する文化芸術ゆかりの地を訪問後に実際にその演目を見てもらうことにより理解を深めるといった狙いがあったため、能楽堂を見学する前後で能と秀吉の繋がりを説明し、ストーリー性をもたせることでより能という芸術に対する理解を深めていただくため。

・あべのハルカス展望台

本来は、あべのハルカス美術館を文化芸術施設として含めたかったが、行程スケジュールを考慮し、展望台見学とあべのハルカス美術館は施設紹介のみとした。

・夕食：たこ焼きづくり体験

単に食事だけではなく体験素材を含めるにあたりたこ焼き作り体験を組み入れた。

●参加者の選定方法

・本事業のターゲットと設定した比較的文化的・芸術・歴史などを重んじる傾向がある欧米豪圏出身者の参加者をメインに選定し、サブターゲットとした台湾、香港も 2-3名含めた。

◆モニターツアー

・モニターツアーの目的である一般の訪日客の目線に近いフィードバック結果を得るため、日本在住、且つ上記ターゲット市場出身の外国人のうち、男女、年齢、職業にばらつきが出るようバランスよく選定した。

◆FAMトリップ

・FAMトリップの目的である今後のコンテンツ造成・ブラッシュアップ・訴求方法に関するフィードバック、アドバイスを得るため、日本在住かつ上記ターゲット市場出身の外国人のうち、旅行業界・メディア業界に携わる方を選定した。

●モニターツアー & FAMトリップ アンケート票

◆モニターツアー・FAMトリップ共通設問

招請者に関する設問	設問.1	あなたの年代をお聞かせ下さい。(必須)				
	選択肢	20代	30代	40代	50代	60代以上
	設問.2	あなたの国籍をお聞かせ下さい。(必須)				
	自由記述					
	設問.3	あなたの性別をお聞かせ下さい。				
	選択肢	男性	女性	回答しない		
	設問.4	あなたのご職業をお聞かせ下さい。				
	記述式					
	設問.5	日本の文化芸術についての印象、どんなところに関心を持っていたかお聞かせ下さい。(必須)				
	記述式					

訪問箇所毎の設問 *訪問箇所毎に設定	設問.1	「●●」について、施設・体験プログラムを5段階で評価してください。(必須)				
	選択肢	大変満足/必ずお勧めしたい	満足/お勧めしたい	普通/どちらでもない	不満/あまりお勧めしない	大変不満/全くお勧めしない
	設問.2	設問1の理由をお聞かせください。(必須)				
	記述式					
	設問.3	受付・誘導・インフォメーションなどのスタッフの人的サービスについて5段階で評価してください。(必須)				
	選択肢	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
	設問.4	設問3の理由をお聞かせください。(必須)				
	記述式					
	設問.5	施設・設備（ハード面）について5段階で評価してください。(必須)				
	選択肢	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
	設問.6	設問5の理由をお聞かせください。				
	記述式					
	設問.7	施設・設備について改善した方が良くと思われる事があればご意見をお聞かせ下さい。				
	記述式					

◆モニターツアー設問

再体験意向	設問.1	今回のような大阪の文化・芸術をテーマとしたツアーがあればまた参加したいと思いますか？(必須)				
	選択肢	ぜひ参加したい	機会があれば参加したい	どちらともいえない	たぶん参加しない	参加したくない
	設問.2	設問1の理由をお聞かせください。(必須)				
	記述式					
	設問.3	本ツアー全体を通して、悪かった点や改善点を教えてください。(必須)				
	記述式					
	設問.4	日本の文化・芸術で今後体験したいコンテンツがあればお聞かせ下さい。(必須)				
	記述式					
	設問.5	その他ご意見や感想があれば自由にお聞かせください。(必須)				
	記述式					

◆FAMトリップ設問

取扱い意向 推奨意向	設問.1	今回のような大阪の文化・芸術をテーマとしたツアーを造成・取扱い、または友人・知人に紹介したいと思いますか。(必須)				
	選択肢	ぜひ計画したい	今後検討したい	どちらともいえない	おそろしくない	興味がない
	設問.2	設問1の理由をお聞かせください。(必須)				
	記述式					
	設問.3	【旅行業界のみ回答】これまで文化・芸術をテーマとしたツアーの造成・取扱いの実績はございますか。				
	選択肢	ある	計画中	ない		
	設問.4	設問3である、計画中と回答された方は差し支えない範囲でその内容をお聞かせ下さい。				
	記述式					
	設問.5	本ツアー全体を通して、悪かった点や改善点を教えてください。(必須)				
	記述式					
	設問.6	日本の文化・芸術で今後体験したいコンテンツがあればお聞かせ下さい。(必須)				
	記述式					
	設問.7	文化・芸術をテーマにしたツアー商品造成するための課題点・ご意見がありましたらご自由にお書き下さい。				
	記述式					

●モニターツアー実施の様子

Day 1

◆山本能楽堂



◆大阪城



◆夕食：味の大丸（たこ焼き作り体験）



◆夜間公演：「和楽器の響き」



●モニターツアー実施の様子

Day2

◆中之島美術館



◆上方浮世絵館



◆国立文楽劇場



◆意見交換会



● FAMトリップ実施の様子

Day1

◆大阪城



◆山本能楽堂



◆夕食：味の丸 (たこ焼き作り体験)



● FAMトリップ実施の様子

Day2

◆中之島美術館



◆上方浮世絵館



◆上方浮世絵館



◆あべのハルカス



◆国立文楽劇場



◆意見交換会



モニターツアーおよびFAMトリップの企画調整・運営業務 効果検証

●モニターツアー

アンケートの目的

大阪の持つアート(美術館・博物館)・伝統芸術(歴史・伝統文化)に対する関心や評価と改善点、課題などについて、**一般の外国人の視点から**整理する。

アンケート結果のまとめ（各施設について）

<各施設における良かった点・課題点>

・最も評価が高かった体験は「山本能楽堂」であった。人的サービス、施設・設備などのハード面ともに**90%**以上が「満足」と回答し、高い評価を得た。特に、流暢な英語で参加者に分かりやすく能が説明されたこと、スタッフ全員からの歓迎のおもてなしが感じられたこと、能の鑑賞時には字幕が壁に投影されたこと、参加者自身が実際に能面や楽器に触れ体験できたこと等が高評価の要因であった。

・大阪城、中之島美術館については、施設自体の評価は高かったものの、特にガイド付きのツアーでなくともお客様自身で見て回ることができるという意見があり、今回のツアーの中に必ずしも入れる必要はないのではという意見があった。一方で能と秀吉の関連性を伝えるなど、ストーリー性が伝わったという声もあった。

・上方浮世絵館・浮世絵刷り体験は、**70%**弱が満足・大変満足と回答した一方で、**21%**が不満と回答し、意見が分かれる結果となった。浮世絵刷り体験は楽しかった、魅力的だったという評価が多かったが、今回のモニターツアー人数（**19名**）に対して施設の規模が小さかったこと、滞在時間が短く十分に体験や展示が楽しめなかったことが不満点に繋がった。

・国立文楽劇場は**95%**が満足・大変満足と回答し総じて高評価であったが、観劇中の案内について課題が残った。観劇中に使用したイヤホンガイドに関して、観劇に集中できない、理解しにくい、イヤホンよりも字幕表示が欲しいという意見が多数あった。

一方で、観劇前の人形浄瑠璃に関するレクチャーは非常に好評で興味深かったとの声が多かった。さらにゲスト自身が人形に触ることができたり、人形と写真が撮れるようにしてほしいという希望があった。

モニターツアーアンケート結果のまとめ（全体を通して）

モニター参加者について

年代（20代～60代）、性別、国籍（9ヶ国）、いずれも多岐にわたり、旅行関係に携わらない様々な職業の方から意見を集約することができた。

日本文化への関心

ほとんどの方が文化に対して関心が高い。モニター応募された方のため当然でもあるが、関心の対象が「浮世絵」「自然愛」「着物」「祭り」「侍」とキーワードが多岐にわたっていたため、広義に「文化」といっても、**関心を引く分野にばらつきがあることが確認できた。**

一方で、今回のようなツアーがあれば、**90%**の方が「ぜひ参加したい」と回答し、自発的に学べない分野の良ききっかけとなった、という意見が多かった。言語の壁がなく文化に溶け込めた、という評価や、日本人と触れ合い学べたことに価値がある、というように「**ホンモノの文化**」を求める視点が多いように思われる。

モニターツアーの改善点

大阪の文化発信というモニターテーマには前向きに賛同いただいていたが「**たこ焼き体験**」「**中之島美術館の特別展（西洋美術）**」「**大阪城**」には**一部否定的な意見**が見られた。また、提供の仕方・人的サービスに不満が見られたものもあった。その他、バス移動や歩く距離、ショーの時間など運営についての意見も散見された。文化人や地元の方との交流を希望する声もあった。

その他興味あるコンテンツ

今回のコンテンツ以外には、「祭り（神輿や舞踊）」「刺繍」「和菓子」「武術（刀、弓）」「相撲」「書道」「茶道」などに興味が示されていた。

その他の意見・感想

自由な意見の中で、特筆できるものとして

- ・ ガイドの説明が重要である
 - ・ 交流の時間をもてるとよい
 - ・ 特別感ある体験に感動した
- などが挙げられ、大阪の文化芸術を活用した観光において今後求められることの一端が示されている。

アンケート結果から読み取れるもの

・最も評価が高かった「山本能楽堂」では、流暢な英語で参加者に分かりやすく能を説明されていたこと、スタッフ全員からの歓迎のおもてなしが感じられたこと、能の鑑賞時には字幕が壁に投影されたこと、参加者自身が実際に能面や楽器に触れ体験できたことが高評価の要因であったことが示された。

・大阪城、中之島美術館については、ガイド付きのツアーでなくともお客様自身で見て回ることができると否定的な一方で、能と秀吉の関連性やストーリー性に賞賛の声もあった。

・国立文楽劇場は**95%**が満足・大変満足と回答され総じて高評価であったが、観劇中の案内について課題が残る一方で、観劇前の人形浄瑠璃に関するレクチャーは非常に好評で興味深かったとの声が多かった。

・人的サービスについて、日本的でなく機械的なおもてなしであったことに、否定的な意見が多かった。

●FAMトリップ

アンケートの目的

大阪の持つアート(美術館・博物館)、伝統芸術(歴史・伝統文化)に対する関心や評価と改善点、課題などについて**旅行関係者の視点から**整理する。

アンケート結果のまとめ（各施設について）

・FAMトリップにおいても、最も高評価であった体験は「山本能楽堂」であった。人的サービス、設備ともに**100%**が満足・大変満足と回答し、これまでの「能」のイメージが良い方向に覆ったという声が多かった。改善点としては、全員が等しく同じタイミングで体験ができるように人数割を工夫すること、**2階**のスペースが狭いため茶道は割愛すること、または少人数の時のみ使用する等の意見が挙がった。

・中之島美術館では人的サービスとして、本ツアーでは美術館スタッフから特別に案内していただいたが、日本語での案内であったため、英語での案内であればなお良かったという意見が多かった。

・上方浮世絵館、浮世絵刷り体験は満足がおおむね**80%**であったが、ハード面においての指摘があった。施設がこじんまりとしており狭い、階段のみの**4階**建ての建物でバリアフリーではないため年配の方への案内は困難、という懸念点だった。

・国立文楽劇場の劇前人形レクチャーが大変好評であった。人形がどのように動くか、技芸員の説明を直接聞き舞台裏を知ることが出来た、説明が分かりやすかったなどポジティブな感想が多かった。ただし、人形をもう少し近くで見たかった、技芸員への質問の時間がもっと欲しかった、一緒に写真を撮る時間があると良い、ゲストはただ見ているだけではなくスタッフとのインタラクティブ（相互的な）なセッションがあると良いという意見もあった。

課題点は観劇中の案内であった。イヤホンからの情報をより簡略化すべき、伝統音楽の響きが台無しになる、英語字幕がほしい、というモニターツアー参加者と同じ課題点が挙がった。

FAMトリップアンケート結果のまとめ（全体を通して）

FAM参加者について

年代は30～50代までのインバウンド現場オペレーションの主力層を中心に、8か国（欧・米・アジア）に分け、ツアーガイドやホテル関係者、旅行ジャーナリストにいたる幅広い方から意見集約することができた。

日本文化への関心

ほとんどの方が文化に対して関心が高い。訪日外国人の旅行に関して、旅行会社がツアー等を組む際に大阪といえば食事・ショッピングが前面に出てしまう傾向があるが、「文楽」の発祥地が大阪であることなどを踏まえた本ツアーの趣旨に一定の刺激と評価があったように思われる。

全員が次回も「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」を選択。大阪の文化観光の将来性に期待し、今後よりブラッシュアップされる外国人向け観劇スタイル（初めて観劇する外国人が参加し易い工夫がされたもの、例：多言語によるガイドンス・短時間公演など）には興味をもっていた。

文化・芸術をテーマにした大阪ツアーの造成・取り扱いについて、「あり」は1名のみ、「計画中」4名、なし「5名」と回答し、半数が「ない」という結果になった。

FAMツアーの改善点

今回のツアー企画におけるコンセプトに合致しストーリー性をもった訪問先は好評であった一方、「大阪城」については一部の参加者に能との関連性がうまく伝わらず、ツアーの訪問先に含まれている理由が分からなという意見があった。このことから訪問箇所に関してのストーリー性については現地ではもちろん事前に資料等を用いて説明することでより理解が深まるものと思われる。

その他タイトなスケジュール、弁当、自由時間の有無など運営についての意見も散見された。

その他興味あるコンテンツ

今回のコンテンツ以外には、「和装」「神社」「忍者」などに興味が示されていた、自身のクライアントやビジネスパートナーのために、多くの方は多岐にわたって学習意欲があった。

その他の意見・感想

- 外国人による日本文化の体験の場をもっと欲しい
- 夜のエンターテイメントが重要
- 特に富裕層は関心が高いのではないかなど業界人ならではの意見が得られた。

- 体験時間を多くもたせる
- 職人との交流がほしい
- 歴史背景の説明が必要

などが挙げられ、ここでも大阪の文化芸術を活用した観光において今後求められることの一端が示されている。

アンケート結果から読み取れるもの

・最も高評価であった「山本能楽堂」の例では、人的サービス・ハード面から、これまでの「能」のイメージが良い方向に覆ったという声もあり、ご案内方法やサービスにより文化への理解度が深まるというよい指標となった。また、中之島美術館では英語での案内があれば、なお分かりやすかったという意見が多かったことから、文化芸術について多言語で理解を促進する環境が重要であると考えられる。

・上方浮世絵館、（浮世絵刷り体験）は施設が狭いこと、階段のみのバリアフリーではない、という点について否定的であった。

・国立文楽劇場の劇前人形レクチャーに対して技芸員の説明が分かりやすかったというポジティブな感想が多かった。一緒に写真を撮る時間があると良い、など接点を求める声も多いことからスタッフとのインタラクティブ（相互的な）なセッションが追求されていると読みとれる。

Ⅱ.文化芸術施設・団体等を対象 にした講座・勉強会・意見交換 会等の実施

令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

文化芸術施設・団体等を対象にした講座・勉強会・意見交換会等の実施

● 本事業の実施方針

大阪における文化芸術関係者（文化芸術団体、施設所有者、出演者）や旅行事業者など対象とする講座・勉強会・意見交換会等（以下「講座等」という。）を開催し、インバウンド向けの文化芸術公演の提供や施設的环境整備に関する現状分析および今後の事業展開に活かせるよう共通認識の構築を図る。

● 実施内容

セミナータイトル 『“文化芸術における”インバウンド受入のための環境整備セミナー』

■ 第1回 インバウンド市場のマーケットと今後の展望について

- 開催日時 : 2023年9月29日（金）13:00～16:00
- 会場 : シティプラザ大阪 4階「眺」会場
- 講師 : 大原 信吉様（株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル 西日本インバウンド事業営業開発課長）
- 参加人数 : 会場参加 28名 + WEB参加 27名 合計 55名
- セミナー形態 : セミナー（スクール形式）
- セミナー内容 : ①海外から見た日本の文化芸術に対する印象について
②コロナ前の訪日インバウンド市場
～コロナ禍の訪日インバウンドと訪日解禁後の状況
～コロナ後の観光トレンド
③今後のインバウンド流通、および文化芸術における観点での受け入れポイントについて
質疑応答
アンケート

【第1回セミナーチラシ】

<表面>

<裏面>

開催予定	予定している主な内容
第2回(10月)	●インバウンドから見た大阪の文化芸術の魅力
第3回(11月前半)	●文化芸術におけるインバウンド旅行の観点・特徴(国・地域別)
第4回(11月後半)	●観光環境整備のポイント(インバウンドターゲット別)
第5回(12月)	●観光環境整備の現状分析・効果検証に関する情報共有
第6回(1月)	●次年度に向けた取組みの検討・意見交換
第7回(2月)	など

■ 第1回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

①海外から見た日本の文化芸術に対する印象について

- 大阪はまだまだ、訪日外国人から文化芸術という観点で認知されていない。

②コロナ前の訪日インバウンド市場

～コロナ禍の訪日インバウンドと訪日解禁後の状況・コロナ後の観光トレンド～

- 過去に比べ訪日インバウンドは減っているが、**2023年7月**以降に回復が本格化している。
- 日本の観光魅力→日本ならではの価値は変わらない。
- サステナブルツーリズム、アドベンチャートラベルなど新たな観光のトレンド。
- 健康や心身の開放・リラクゼーションをテーマとした旅行が増加。
- 団体旅行から個人旅行へのシフトに伴う、旅行目的の多様化。

③今後のインバウンド流通、および文化芸術における観点での受け入れポイントについて

- 料金設定、体験内容がお客様にマッチしているかどうか、特別な体験かどうか。
- 夕食後に行ける場所が少ない、ユニークベニュー・パーティベニューが足りない、体験施設の選択肢が少ない等の改善課題がある。

質疑応答

(Q1) アジア地域のお客様は日本の芸能に興味があるのか。どういったアプローチをしたらいいのか。

(A1) アジア圏からの旅客に興味をもってもらうには時間がかかるため、思い切ってターゲットを欧米豪にして英語で展開するのがよい。

(Q2) 講談などを英語で訳すと意味が伝わらない。字幕でもいいのか。

(A2) 日本の習慣、所作が理解できないと字幕でも難しい。1つの案としては日本の習慣、所作などを事前に説明してから公演すると伝わるかもしれない。

■第2回 2023年秋最新、インバウンドおもてなしの現場から (欧米からのインバウンド対象とした)

- ・開催日時 : 2023年10月27日(金) 13:00~16:00
- ・会場 : シティプラザ大阪 4階「眺」会場
- ・講師 : 富山 佳子様(インバウンドファクトリー代表)
- ・参加人数 : 会場参加 7名 + WEB参加 31名 合計 38名
- ・セミナー形態 : セミナー(スクール形式)
- ・セミナー内容 : ①インバウンド訪日外国人の動向及び趣味・趣向傾向
~よく聞かれる質問やリクエストなど
②インバウンドゲストの滞在期間中の過ごし方の傾向
~ラグジュアリー層及び次世代顧客など
③今やるべき受け手側インバウンド対応について
質疑応答
アンケート

【第2回セミナーチラシ】

文化芸術施設・団体等に特にオススメ

インバウンドの最新情報を掴んで、外国人観光客をしっかりと取り込もう!

令和5年度 第2回 “文化芸術における” インバウンド受入のための環境整備セミナー

2023年10月27日(金) 13:00-16:00

講師 富山 佳子

会場 シティプラザ大阪 4階「眺」会場

参加人数 100名

申込締切 10月25日

料金 無料

主催 大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

後援 令和5年度日本博2.0事業(委託型)

<表面>

セミナーの目的・概要

本セミナーは、府内の文化芸術施設等におけるインバウンドの受入環境整備を促進するに当たり、最近の市場動向や府内で先行的に取り組む“文化芸術における”インバウンド受入環境整備の事例、その必要性等について情報を共有するために実施するものです。

2025年大阪・関西万博に向け、府内全域で「より多くの外国人の文化芸術の魅力に触れ、楽しんでいただける」環境を整備し、インバウンドをはじめとする来阪客の方々が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を拡大していくことで、さらなる大阪の都市能力の向上につなげていきます。

開催予定	予定している主な内容
第3回(11月前半)	●インバウンドから見た大阪の文化芸術の魅力
第4回(11月後半)	●文化芸術におけるインバウンド旅行の観点・特徴(語・地域別)
第5回(12月)	●受入環境整備のポイント(インバウンドターゲット別)
第6回(1月)	●受入環境整備事業の結果分析・効果検証に関する情報共有
第7回(2月)	●次年度に向けた取組みの検討・意見交換 など

万博に向けて、これからさらに外国人観光客が増えるのはなんとなく分かるけど...

☑ そもそもインバウンドの状況ってどうなってるの? ☑ どうすれば気軽に来てもらえる?

☑ 外国人観光客を受け入れるメリットって何? ☑ リピーターになってもらうには?

☑ 施設やコンテンツの多言語化対応って何をどうすれば?

☑ 外国人観光客に受け付けるコンテンツって、どんな工夫をすればいいの?

当セミナーに参加することで...

情報収集 → 現状分析 → 情報共有

自身の悩みに合ったヒントが見つかり、インバウンド向け事業に積極的に取り組める!

大阪文化芸術の魅力発信に係るインバウンド向け環境整備等検証事業事務局

お問い合わせ TEL.06-6260-4780 09:00-17:00 1541-0056 大阪府知事室(大阪府庁2-4-25) / TEL.04-78 観光文化庁(1階 大宮第一事務室) 1541-0058 大阪府観光局(大阪府庁2-4-25) / TEL.06-6260-4780

メールアドレス: Osaka-culture-art@jtb.com

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-31

主催 大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

後援 令和5年度日本博2.0事業(委託型)

<裏面>

■ 第2回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

- ①インバウンド訪日外国人の動向及び趣味・趣向傾向
～よく聞かれる質問やリクエストなど～
 - 事前の調査はしているが、旅行中も常に検索し情報をアップデートしている。
 - 訪日外国人が求める大阪での観光は常に多様化している。(ニーズ・ウォンツは常に変わる)
- ②インバウンドゲストの滞在期間中の過ごし方の傾向
～ラグジュアリー層及び次世代顧客など～
 - 滞在地は1ヶ所にして、一週間以上滞在。
 - 若い世代(20代～)である次世代富裕層をターゲットにするのもいい。
- ③今やるべき受け手側インバウンド対応について
 - 施設のWi-Fi環境整備
 - 施設スタッフとのコミュニケーション。
 - 多言語表記(観光案内板、地図等)

質疑応答

- (Q1) 能や伝統芸能をハイカルチャーとしてどのように外国人に対して紹介すればいいですか？
- (A1) 生の声で日本語から英語に訳してご案内する。能そのものよりも能装束や舞台周りなどの説明により能の理解を深めてもらう。ビジネス訪日客の取り込み(展示会など)も有効。
- (Q2) 伝統芸能の紹介はコンパクトに単独にするのか、幅広くコラボコンテンツで紹介する方がいいのか。
- (A2) 歌舞伎を知っているから能が見たいという例があるように同業の組合せがよい。また、大阪城と能などの組合せも有効。

■ 第3回 アジアからのインバウンドにおける動向について

- ・開催日時 : 2023年11月14日(火) 13:00~16:00
- ・会場 : シティプラザ大阪 4階「奏」会場
- ・講師 : 山内 浩世様(株式会社Fun Japan Communications 代表取締役社長)
- ・参加人数 : 会場参加 8名 + WEB参加 36名 合計 44名
- ・セミナー形態 : セミナー(スクール形式)
- ・セミナー内容 : ①アジアマーケットの動向と最新トレンド
②訪日外国人に対して、文化芸術施設が有するポテンシャル
③訪日外国人を取り込むポイント
質疑応答
アンケート

【第3回セミナーチラシ】

<表面>

<裏面>

■ 第3回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

- ① アジアマーケットの動向と最新トレンド
 - ロシア・中国など特殊事情のある国以外はインバウンド市場は順調に回復している。
 - コロナ後は消費単価が上がっている。
 - 関西圏はアジア地域の訪日外国人からは人気がある。
- ② 訪日外国人に対して、文化芸術施設が有するポテンシャル
 - モノ消費より、コト消費の方が伸びていることから文化芸術は伸びる可能性がある。
 - 美術館・博物館・歴史文化、名所に対する訪日外国人客の関心の高い。
- ③ 訪日外国人を取り込むポイント
 - 海外の旅行代理店とつながりを持つ。
 - 在日外国人から知り合いへの発信。（信頼性が高い）
 - 外国人へのダイレクトアプローチ。

質疑応答

- (Q1) 訪日外国人向けに英語でワークショップを開催したことがあるが、英語圏以外のお客様もいる。この場合どのように開催すればいいのか。
- (A1) 逆に日本語だけで開催し、全体を通してこれが日本の文化と言い切るのも一つの方法。ただし事前に資料等で内容を分かるようにしておき、途中片言でも良いので、外国語で伝えるなど雰囲気味わっていただくと共に、要所でしっかり伝わるような工夫が必要。
- (Q2) 欧米原作の演劇を日本で上演しており外国人はそれに対してどう見ているか。また、日本で見たい演劇はどういうものか。
- (A2) 偽物だと思っていないが、本場とも思っていない。日本らしい時代劇やそれに合わせて体験・バックヤードツアーなどが外国人には受入れられる。

■ 第4回 セミナー参加者の皆さまから寄せられた「テーマ」について、日頃からインバウンドに接する文化芸術・宿泊・観光など各方面の専門家と気軽に意見交換していただける座談会

- ・開催日時 : 2023年11月29日(水) 13:00~16:00
- ・会場 : シティプラザ大阪 2階「朗」会場
- ・コメンテーター : 太田 泰史様(大阪中之島美術館 事務課)
田中 一徳様(スイスホテル南海大阪 ホテル支配人)
内谷 順子様(総合インフォメーションセンターなんば・難波観光案内所 販売担当課長)
- ・参加人数 : 会場参加 5名 + WEB参加 31名 合計 36名
- ・セミナー形態 : 座談会(スクール形式) ※コメンテーター3名+MC1名
- ・セミナー内容 : ①多様化する客層の要望・グローバルサウスの方が日本観光に何を求めているか
②国別・富裕層別の来阪状況・過ごし方と伝統文化の関心についての事例や傾向
③文化芸術の視点から日本文化・芸術鑑賞・体験・実施されている取り組み事例や訪日外国人に向けて取り組んでいること
④インバウンド受入のための具体的な対策で効果があった事例や受入れ時に生じるメリットとデメリット
⑤インバウンドに向けた取り組みとして、それぞれの立場で何が必要か
文化・芸術を希望されている方の割合・客層と具体的な情報提供方法
※インバウンドへの取り組みを、まだされていない経営者の立場からの意見
質疑応答
アンケート

【第4回セミナーチラシ】

<表面>

<裏面>

■ 第4回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

- ① 多様化する客層の要望・グローバルサウスの方が日本観光に何を求めているか
 - コロナ前とあまり求めているものは変わらないが、新しくできた施設などを求めている。
 - グローバルサウスの方は圧倒的に食を目的としてきているため、文化芸術のところに行くまでに、熟成が必要。
 - 欧米の方は目的がハッキリしている。
- ② 国別・富裕層別の来阪状況・過ごし方と伝統文化の関心についての事例や傾向
 - 最近のホテルでの来阪状況はフィリピン・インドネシアの方が多い。団体（家族など）で来阪している。
 - 欧米の富裕層はあまり目立たない。
 - 文化芸術の関心度は富裕層であるか否かに関係なく、興味がある人はあるが、ない人はない。
- ③ 文化芸術の視点から日本文化・芸術鑑賞・体験・実施されている取り組み事例や訪日外国人に向けて取り組んでいること
 - キャッシュレス対応
 - イベントなどを旅行ツアーに入れることにより、旅前でも知ってもらう。
 - 施設でできることを増やす（コンテンツ、施設を貸切るなど）。料金設定を安くするのもいい。
- ④ インバウンド受入のための具体的な対策で効果があった事例や受入れ時に生じるメリットとデメリット
 - SNSで宣伝しても実際来場したときに内容が充実していないとリピートに繋がらない。
 - 英語だけでなく紙1枚でもいいから多言語を取り入れる。（フランス語など）
 - 口コミを書いてもらうためのコンテンツ作り。
- ⑤ インバウンドに向けた取り組みとして、それぞれの立場で何が必要か文化・芸術を希望されている方の割合・客層と具体的な情報提供方法
（※インバウンドへの取り組みを、まだされてない経営者の立場からの意見）
 - 文化芸術を希望される方は今現在では、そう大きいものではない。
 - 交通手段、食、施設を絡めたコラボセットなどスタンプラリー、クーポンとかも視野に入れる。
 - 旅前に予約できるコミュニティ作りがいい。

質疑応答

- (Q1) トリップアドバイザーなど外国人が使うwebサイトはどのようなものがあるか。
(A1) 訪日ラボ、YouTube（イタリア人）、知り合いからの紹介など。（内谷様回答）
- (Q2) 文化芸術分野において来店されるのは個人なのか複数なのか、また価格設定はいくらぐらいなのか。
(A2) 欧米は夫婦が多く、価格設定は1万円以上でも大丈夫。（コメンテーター全員回答）

■ 第5回 「SNSの活用方法」と「インバウンドに向けた効果的な情報発信・魅力の伝え方」をプロの手法から学ぶ

- ・開催日時 : 2023年12月21日(木) 13:00~15:00
- ・会場 : シティプラザ大阪 4階「奏」会場
- ・講師 : 橘 明日香様 (モバイルエール 代表)
- ・参加人数 : 会場参加 6名 + WEB参加 30名 合計 36名
- ・セミナー形態 : セミナー (スクール形式)
- ・セミナー内容 : ① SNSの登録・情報発信など基本的な操作方法について
② 効果的な演出方法と魅力発信の手法について
質疑応答
アンケート

【第5回セミナーチラシ】

文化芸術施設・団体等に特にオススメ

インバウンドの最新情報を掴んで、外国人観光客をしっかりと取り込もう!

令和5年度 第5回 “文化芸術における” インバウンド受入のための環境整備セミナー

2023年12月21日(木) 13:00~15:00

講師交代 次頁参照

会場情報 シティプラザ大阪 4階「奏」会場
〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-3-1

参加人数 100名 ※WEB参加と会場参加を合わせた人数

参加申込締切 12月19日(火) 料金 無料

主催 大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
後援 令和5年度日本博2.0事業(委託版)

<表面>

セミナーの目的・概要

本セミナーは、市内の文化芸術施設等におけるインバウンドの受入環境整備を促進するにあたり、近隣の市町圏内や市内で先行的に取り組む「文化芸術における」インバウンド受入環境整備の実例、その必要性等について情報を共有するために開催するものです。
2025年大阪・関西万博に向け、府内全域で「より多くの方に大阪の文化芸術の魅力に触れ、楽しんでいただける」環境を整備し、インバウンドをはじめとする来訪者の方々が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を拡大していくことで、さらなる大阪の都市魅力の向上につなげます。

開催予定	予定している主な内容
第6回(1月)	●受入環境整備事業の結果分析・効果検証に関する情報共有
第7回(2月)	●次年度に向けた取組みの検討・意見交換 など

万博に向けて、これからさらに外国人観光客が増えるのはなんとなく分かるけど...

そもそもインバウンドの状況ってどうなってるの? どうすれば気軽に来てもらえる?
 外国人観光客を受け入れるメリットって何? リピーターになってもらうには?
 施設やコンテンツの多言語化対応って何をどうすれば?
 外国人観光客に受けるコンテンツって、どんな工夫をすればいいの?

当セミナーに参加することで...

情報収集 → 現状分析 → 情報共有

自身の悩みに合ったヒントが見つかり、インバウンド向け事業に積極的に取り組める!

大阪文化芸術の魅力発信に係るインバウンド向け環境整備等検証事業事務局

お問い合わせ TEL.06-6260-4780 9:30~17:30 12月19日(火)まで
メールアドレス:osaka-culture-art@jtb.com

〒541-0056 大阪市中央区本町橋2-1-25 JTBビル11階
株式会社JTB 大阪支店(〒541-0056)

【注】 無料・100名まで

EXPO 2025 JAPAN CULTURAL EXPO 2025

<裏面>

第5回セミナー講師

橋 明日香

【プロフィール】

SNS活用・集客セミナー研修講師。
小さなお店のための SNS活用を踏まえたホームページ制作モバイル代表・ITコーディネーター。
お客様とつながるきっかけづくり、インターネット活用・デザインの困ったを解決、をモットーに売上向上させる提案が得意なITコンサルタント。

兵庫県西宮市に籍を置き個人事業・中小企業支援をトータルサポートするホームページ活用アドバイス・無料SNS集客マーケティングの専門家として、中小企業119専門家・商工会議所のセミナー講師・アドバイザー・デジタル応援隊1T専門家として活動中。

自身がオウンドメディアをもち、インバウンドマーケティングを活用して集客を行っている。女性目線でコスト重視を研究し実践。結果業績を伸ばすことに成功。クライアントの方の力量にあわせて、オーダーメイドのマニュアル作成や、出張個人レクチャー等も対応。女性や個人事業主の柔軟なライフスタイルに対応したWEB活用の運営サポートが強い。

セミナー、専門家派遣等支援実績は延べ4,000人を超え、制作に携わったホームページは200以上。
日本商工会議所デジタル化支援セミナー-SNS集客活用部門講師
大阪商工会議所1Tサポートデスクのコーディネーター
各種団体のWEB専門家、中小企業119専門家

【公的機関でのセミナー・支援実績】

・西宮商工会議所主催「経営塾～SNSと動画活用セミナー～」
・大阪商工会議所主催「小さなお店のためのネットショップ活用セミナー」
・川西市商工会個人事業主のためのLINE公式アカウント・Instagram活用セミナー」
ほか、以下団体等でのセミナー開催、研修講師など多数の実績
大阪商工会議所、西宮商工会議所、松原商工会議所、茨木商工会議所、川西市商工会、芦屋市商工会、摂津市商工会、高槻商工会議所、神戸商工会議所、寝井商工会議所、豊中商工会議所、前橋商工会議所、泉佐野商工会議所、豊川商工会議所、生駒商工会議所、常滑商工会議所、春日井商工会議所、三木商工会議所、むさし府中商工会議所、龍野商工会議所、赤穂商工会議所、いしづき市商工会議所、朝来市商工会、相生商工会議所、伊丹商工会議所、藤岡商工会議所、今治商工会議所、大曲商工会議所、高崎市商工会連合会、吉野川商工会議所、INPT知財総合支援窓口、吹田商工会議所、西宮市道徳小売組合、奈良酒販小売組合、尼崎アピーズ、HEPFIVE、イオンモール伊丹、摂津市国際交流協会、THE OUTLETS KITAKYUSHU、大阪梅田32番街飲食店団体研修、十三3商店街、インテックス大阪店舗・EC DXPO大阪'23、西宮男女共同参画センター・ウェブ、京都中央信用金庫、岐阜県中小企業診断士協会、神戸市産業振興財団、京都産業21WEB専門家

■ 第5回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

① SNSの登録・情報発信など基本的な操作方法について

- 海外での登録者数、1位Facebook、2位Instagramが多い。
- セキュリティーへの配慮も重要。
- フォローしてもらった後のつながりを大事にする。
- SNS運用を頻繁に行う。

② 効果的な演出方法と魅力発信の手法について

- 誰に対して、何を、どんないいことがあるかを作成者が明確にイメージして発信する。
- SNSで断片的な情報を発信しHPへ誘導した後、詳しい説明をする。
- 外国人が写っている写真を載せたり簡単な英語表記をすることによりインバウンドを歓迎している発信をする。

質疑応答

(Q1) 美術館、劇場、文化施設で上手にインスタを利用されているところはあるのか？
東京でも大阪でも。

(A1) すべてを把握しているわけではないので、1つの調べ方を提案する。Instagramであれば、虫眼鏡のアイコンを押すと、人気のある検索ワードが一覧になって出てくる。そこから人気のあるアカウントを見つけることができる。他社がSNS上で何をしているかを知ることが大切。

■ **第6回** インバウンド対応を積極的に進めている施設のご担当者様から、インバウンド受入のため独自に行っている取組みについてお聞きするとともに、セミナーご参加の皆様とも気軽に意見交換していただける座談会

- ・開催日時 : **2024年1月16日（火）13:00～16:00**
- ・会場 : シティプラザ大阪 2階「朗」会場
- ・コメンテーター : 山本 佳誌枝様（公益財団法人 山本能楽堂 事務局長）
小河原 匠様（独立行政法人 日本芸術文化振興会 国立文楽劇場 事業推進課課長）
長谷川 哲也様（松竹株式会社 関西演劇室 企画営業）
- ・参加人数 : 会場参加 **3名** + **WEB参加 30名** 合計 **33名**
- ・セミナー形態 : 座談会（スクール形式）※コメンテーター**3名**+MC**1名**
- ・セミナー内容 : ①インバウンド受入のための取組みについての具体例
②それぞれの取組みの成功例・失敗例
③取組みのうち、継続するもの、中止するものまた今後新たに着手するものについて
質疑応答
アンケート

【第6回セミナーチラシ】

<表面>

<裏面>

■第6回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

- ①インバウンド受入のための取組みについての具体例
 - 体験・見学会（着付け、バックヤードツアーなど）
 - 完全英語公演（英語にできないところは字幕）
 - イヤホンガイド、館内英語アナウンス、パンフレットの中に外国語での説明、多言語チラシ、看板などの取組み。
 - スタッフ用の外国人向け対応マニュアルを作成。
- ②それぞれの取組みの成功例・失敗例
 - 文化芸術を気軽に楽しめて学べるアプリを制作。
 - ワークショップ参加申し込みや初めての方向けに合わせた公演など。
 - ロビーにプロジェクションマッピングを設置したが、外国人への集客には繋がらなかった。
 - コロナ明けは、万全な体制が整っていなかった。
- ③取組みのうち、継続するもの、中止するものまた今後新たに着手するものについて
 - 音声ガイドもいいが、字幕を出して欲しいとの声がある。
 - プロモーションを引き続き継続して取組む。
 - 芸術の創造を常にする。観光と芸術をどう結びつけるか、また観光用のコンテンツ作りをする。

質疑応答

- (Q1) 写真撮影はどの程度まで許可していますか？公演中、バックヤードツアーなどの写真はいいか。
- (A1) 基本的に公演中は撮影できない。体験などは基本的に写真撮影、動画撮影は許可している。
(コメンテーター全員の回答)
- (Q2) 山本能楽堂のアプリ開発にかかった費用、期間を教えてください。
- (A2) 7～8つアプリを作ったが、そのうち5～6つは文化庁の補助金で制作した。その分無料で公開をしている。内容によっては費用が変わってくるが、100～200万ぐらいの費用がかかった。
制作期間は内容によるが数か月（10ヶ月程度）で作れる。（山本様回答）

■ 第7回 「大阪文化芸術の魅力発信に係るインバウンド向け環境整備等検証事業」の結果分析・効果検証、次年度に向けた取組みの提案など、インバウンドのプロの意見も交えての共有及び名刺交換会

- ・開催日時 : 2024年2月20日(火) 13:00~16:00
- ・会場 : シティプラザ大阪 2階「燦」会場
- ・プレゼンター : 山本 佳誌枝様(公益財団法人 山本能楽堂 事務局長)
雲川 忠司(大阪文化芸術の魅力発信に係るインバウンド向け環境整備等検証事業事務局)
大原 信吉様(株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル 西日本インバウンド事業営業開発課長)
- ・参加人数 : 会場参加 39名
- ・セミナー形態 : セミナー(スクール形式) + 交流会 ※会場参加のみ
- ・セミナー内容 : ①インバウンド向けモデル事業を実施した「山本能楽堂」からの報告
②府・市・実行委員会実施のインバウンド向け環境整備事業全体に関する総括
③インバウンド向けビジネスを後押しする観光慣例事業者等との名刺交換会の開催
質疑応答

【第7回セミナーチラシ】

<表面>

<裏面>

■第7回セミナー 要旨・質疑応答

要旨

- ①インバウンド向けモデル事業を実施した「山本能楽堂」からの報告
 - 過去からの取組事例、コロナ以降の変化に応じた対応事例など報告。
 - 海外での実施事業及び検証内容について報告。
 - 特別開放事業について詳細説明。
 - 事業を通じての効果・課題の検証と対策の報告。
 - 今後の取組事例の報告。

- ②府・市・実行委員会実施のインバウンド向け環境整備事業全体に関する総括
 - インバウンド取組に対しておもてなし対策など受入れ側の意識醸成が必要である。
(マルチ言語によるガイダンスや通訳案内、SDG's やユニバーサルデザインへの取組など)
 - 受入側のアピールポイントの深堀とそれを活用した売れる商品の検証。
 - インバウンドへの認知が必要であり、情報発信の重要性についての検証。
(マーケティング、ターゲット、効果的な発信手法など)
 - 単一商品素材よりも他の素材とのコラボによる付加価値のある効果的な商品構成の必要性。
 - 取組事例や最新情報など情報交換による課題抽出、対策検証の機会の必要性。

- ③インバウンド向けビジネスを後押しする観光関係事業者等との名刺交換会の開催
 - インバウンド取組事業者との名刺交換による情報交換及び課題とニーズの共有。
 - 情報発信、認知手段など広報活動における新たな関係性の構築機会。
 - 成功事例などの共有による取組意識の醸成。

質疑応答

- (Q1) ホテルにチラシを置きたいが簡単に置けるのか。
(A1) 説明をして趣旨を伝える。ホテル側にメリットがあることを伝えるのも良い。
(例：ロビーで公演をしてホテルにお客様を呼ぶなど)

●セミナー風景

◆セミナー受付周り



◆セミナーの様子（第2回）



◆座談会の様子（第4回）



◆セミナーの様子（第7回）



文化芸術施設・団体等を対象にした講座・勉強会・意見交換会等の実施に対する効果検証

● 第1回セミナー～第6回セミナー ※第7回は報告会

効果検証 アンケート（アンケート回答数：70名）

アンケート①：『インバウンド受入についての関心度』を尋ねることにより興味の度合いを測る。
⇒参加施設の約8割がインバウンド受入に対してなんらかの関心がある。

アンケート②：『インバウンド受入の課題の程度』を尋ねることにより、問題をどの程度抱えているか検証。
⇒参加施設の約8割がインバウンド受入のために様々な課題を抱えている。

アンケート③：『インバウンド受入のための課題』を尋ねることにより、具体的な問題点をつまびらかにする。
⇒問題点は多岐に渡りあるが、一番多いのは「ターゲット（国別等）における分析課題」であった。
国別・地域別にどのように販促・広報すれば効果的か模索している。
少数意見では、スタッフ等の語学力（英語が堪能なスタッフがいない）が課題になっている。

アンケート④：『インバウンドによる収益は全体の何%か？』にて、現状の収益の割合・重要度を確認。
⇒参加施設の約5割が0%①で興味があっても、具体的な取組みがなされていない。
そのため、収益につながっていない。

アンケート⑤：『インバウンド獲得に向けて対策・企画をしているか』にて、現時点での環境整備の度合いを確認。
⇒約6割が現時点でなんらかの対策は講じているが、残りの4割が何も対策をしていない。

アンケート⑥：『現在のターゲット（顧客層）』を確認することにより現状の把握。
⇒インバウンドが約19%、日本人が81%なので、まだまだ訪日外国人向けとは言い難い。

アンケート⑦：『日本博2.0事業（文化庁）の認知』を確認することにより、インバウンド受入に対する支援内容等の認知や取組み意欲を確認。
⇒セミナーに参加しているにもかかわらず、約7割が主旨を理解していない。

効果検証 まとめ

- 第1～3回までのセミナーで、コロナ前後の比較、地域別（欧米・アジア）などの特性や状況を文化芸術施設・団体に認識・理解頂けた。
- 第4回では、日頃からインバウンドに接している文化・宿泊・観光施設の専門家から、文化芸術施設へのインバウンド誘致について議論していただき問題点が明らかになった。
- 第5回では、それまでに繰り返しセミナーで話題に挙がっていたインバウンド誘致に有効なSNSの利用方法を具体的に講師に講演して頂くことにより、SNS活用の重要性をより認識して頂けた。
- 第6回では、インバウンド受入のために独自に行っている取組みについて、文化施設の担当者から講演を聞くことにより、インバウンドの受入対応をさらに具体的に理解いただけた。

Ⅲ.交通拠点等における効果的な プロモーションの実施

令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

交通拠点等における効果的なプロモーション実施

●本事業の実施方針

当委員会が実施する公演やその実施文化芸術施設について、インバウンドの着地型コンテンツとしての有用性を検証するため、インバウンドが多く利用する府内の交通拠点や観光スポット等において、効果的なプロモーションを実施する。また、この機会を有効に活用し、大阪の文化芸術の魅力発信に資するプロモーションを組み合わせる。

●実施内容①

G7大阪・堺貿易大臣会合

■実施目的 G7の貿易を担当する各国の大臣が、様々な地球規模の課題について意見交換を行う国際会議の展示エリアで、大阪の文化芸術の魅力発信を行う。

- ・開催日時 : 2023年10月28日（土）～29日（日）09:00～18:00
- ・会場 : 大阪府立国際会議場（大阪市北区中之島5丁目3-51）
- ・イベント内容 : 文化芸術パネルの設置、伝統芸能から能面・能装束の特別展示。
大鼓・小鼓・能装束着付け体験など。
- ・来場者 : 大臣会合出席者、同行者、プレス関係者他／約100名



◆展示ブース



◆能面（特別展示）



◆能装束 着付け体験



◆小鼓体験



効果検証

- 外国人関係者が展示に興味を示し、鼓体験・能装束の着付けなど体験要素に大きな効果があった。またストーリー性の説明と体験型素材を組み合わせることでより興味促進に効果的である。
- 展示（パネル・能面・能装束）・体験（大鼓・小鼓・衣装着付け）では見栄えは良いものの本質が完全には伝わらなかった。興味を持たせるには、外国語での詳細説明と説明するスタッフ及びスペース確保が必要である。

●実施内容②

キュープラザ心齋橋イベント

- 実施目的 実行委員会が実施する**2023年11月24日（金）のCJPO夜間特別公演「和楽器の響き」**及び**11月27日（月）～12月10日（日）の「山本能楽堂特別開放」**への誘客につなげる。
- ・開催日時 : **2023年11月20日（月）13:00～17:00**
- ・会場 : キュープラザ心齋橋イベントスペース（大阪市中央区心齋橋筋1-1-10）
- ・イベント内容 : 文化芸術パネル・看板等の静止画での**PR**とスタッフによるチラシ配布で、外国人観光客に直接アプローチする。
- ・配布チラシ : **CJPO夜間特別公演“和楽器の響き”チラシ1,000部**
（日本語版500、英語版500）
山本能楽堂特別開放チラシ1,000部（日本語版500、英語版500）
- ・宣伝物 : **CJPO夜間特別公演「和楽器の響き」B1ポスター2部**
（英語版のみ）
- ・来場者 : 訪日外国人／**2,000名**



◆とんぼりリバーウォーク入口



◆イベントスペース配布風景



効果検証

- イベントスペース内での配布にとどまったため、外国人に周知するには盛り上げの演出などが効果がある。
- 配布だけでは、実施するイベント内容を伝えることが難しく、また英語の対応しかできないスタッフであったため一部の外国人にしか詳細の説明が出来なかった。可能であれば多言語スタッフによる対応が望ましい。

●実施内容③

とんぼりリバーウォーク プロモーションイベント

- 実施目的 外国人観光客が多く集まる道頓堀地区で体験&ステージイベントを実施し、大阪の文化芸術の魅力を発信するとともに、**CJPO**夜間特別公演「和楽器の響き」や山本能楽堂特別開放への誘客に繋げる。

- 開催日時 : **2023年11月21日（火） 10:00～16:30**
- 会場 : とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区道頓堀／戎橋北詰西側）
- イベント内容 : 「本物」の伝統芸術等のパフォーマンスで注意を惹き、文化芸術体験で興味を掻き立てるとともに、チラシ配布等により**CJPO**夜間特別公演及び山本能楽堂特別開放への誘致を図る。（※当日進行スケジュールは次頁参照）
【内容】
パフォーマンス／和太鼓（独奏）、琴・尺八・ダンスコラボレーション、
能楽（山本能楽堂）
体験／和太鼓、琴、三味線、能面、小鼓
展示／能面、文化芸術パネル
- 配布チラシ : **CJPO**夜間特別公演「和楽器の響き」チラシ**2,000**部
（日本語版**1000**、英語版**1,000**）
: 山本能楽堂特別開放チラシ**1,000**部（日本語版**500**、英語版**500**）
- 宣伝物 : **CJPO**夜間特別公演「和楽器の響き」**B1**ポスター**5**部
（英語版のみ）
- 来場者 : 訪日外国人／約**2,000**名
- アンケート : アンケート <https://forms.office.com/r/UHRW6gANxT>



■ 当日スケジュール ■

ステージ				体 験 (ワークショップ)					
開始	終了	mi n	項 目	出演者	演 目・概 要	time	ステージ体験	体験ブース①	体験ブース②
						7:00			
						15			
						30			
8:45	9:00	15	出演者集合 (控 室)			45			
9:00	30	30	オープンリハ	MC玉川・テクニカル		8:00			
						15			
						30			
						45			
10:00	10:05	5	第一部 オープニング	MC玉川	呼び込み・概要説明	9:00			
10:05	10:15	10	オープニングパフォーマンス	独楽 Komi	和太鼓パフォーマンス	15			
10:15	10:20	5	転換・演者トーク	MC玉川	演者インタビュー	30			
10:20	10:35	15	箏・尺八・ダンスコラボパフォーマンス	白井真優・菊武粧子・井本蝶山	古典芸能と現代芸能の融合	45			
10:35	10:40	5	転換・演者トーク	MC玉川	演者インタビュー	10:00			
10:40	10:55	15	能 楽	山本能楽堂 能楽師	能楽実演	15			
10:55	11:00	5	転換・演者トーク	MC玉川	演者インタビュー	30			
11:00	11:15	15	PRトーク/エンディング	MC玉川・山本能楽堂	事業説明・イベントPR	45			
11:15	11:30	15	転換			11:00			
11:30	11:55	25	和太鼓体験	独楽 Koma		15			
11:55	12:00	5	ステージ転換			30	和太鼓体験 (30分)		
			休憩120分			45			
						12:00	能面・小鼓・大鼓体験 (60分)	箏体験 (30分)	展 示
						15			
						30		三味線体験 (30分)	
						45			
						13:00	和太鼓体験 (30分)		
						15			
						30		箏・三味線体験 (30分)	
						45			
14:00	14:05	5	第二部 オープニング	MC玉川	呼び込み・イベント概要説明	14:00			
14:05	14:15	10	オープニングパフォーマンス	独楽 Koma	和太鼓パフォーマンス	15			
14:15	14:20	5	転換・演者トーク	MC玉川	イベント概要説明	30			
14:20	14:35	15	箏・尺八・ダンスコラボパフォーマンス	白井真優・菊武粧子・井本蝶山	古典芸能と現代芸能の融合	45			
14:35	14:40	5	転換・演者トーク	MC玉川	イベント概要説明	15:00			
14:40	14:55	15	能 楽	山本能楽堂 能楽師	能楽実演	15			
14:55	15:00	5	転換・演者トーク	MC玉川	イベント概要説明	30	和太鼓体験 (30分)	能面・小鼓・大鼓体験 (60分)	
15:00	15:15	15	PRトーク/エンディング	MC玉川・山本能楽堂	事業説明・イベントPR	45			
15:15	15:30	15	転換			16:00			
15:30	15:55	25	和太鼓体験	独楽 Koma		15		箏・三味線体験 (30分)	
15:55	16:00	5	ステージ転換			30			
			終了						

■ 出演者 ■

能〈能楽師〉



山本能楽堂による能楽披露

和太鼓ショー



独楽（太鼓）4名（太鼓3 ※内1名三味線に変わる曲あり、笛1）
和太鼓パフォーマンス集団独楽による和楽器演奏。
和太鼓だけでなく、津軽三味線、琴、尺八、篠笛、唄なども行い独自の
世界観のパフォーマンスを行っている。

琴、尺八、ダンスコラボパフォーマンス（古典と現代の融合）



菊武 粧子（さくたけ しょうこ）
箏・三味線・十七絃

兵庫早川西市出身。当道友楽会三代目家元・菊武厚詞の長女。
平成30年5月国立文楽劇場にて芸名・菊武を襲名。
雲雀丘学園箏曲部、指導講師。

6歳より箏を、10歳より三味線を始める。
小林聖心女子学院小学校、中学校、高等学校卒業。
東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流専攻卒業。在学中「常葉賞」受賞。
これまでに祖父菊武深、父菊武厚詞、安藤政輝、砂崎知子、深海さとみの
各氏に師事。



井本 蝶山（いもと ちょうざん）
尺八

4歳より生田流箏曲を始める。10歳で都山流尺八に転向、永廣孝山師に師事。
15歳で師範試験に史上最年少で登第。
東京藝術大学音楽学部附属高等学校入学。
2014年同大学音楽学部邦楽科都山流尺八専攻卒業。
卒業時に同声会賞受賞、皇居桃華楽堂にて御前演奏を務める。
NHK「うたコン」などメディア演奏多数。

南禅寺 独秀流南禅教会音曲担当。都山流尺八 葛友会特任講師。カレッジ神
戸尺八講師。日本三曲協会会員。邦楽アンサンブルみやこ風韻メンバー。



ダンサー 振付師 MC
白井真優（しらいまゆ）

大阪市在住。
1992年生まれ
身長 150cm
体重 46kg

高校生の時にストリートダンスを始め、その後さらなる身体表現を追求する為に、バレエ、ジャズダンス、モダンダンス、アフリカンダンスを学ぶ。その後渡米しNew York のMartha Graham Schoolにて本格的にモダンダンスを学びNew York でパフォーマー、振付師として活躍。また、インドやフィリピン、台湾にも渡り子供や学生向けのダンスワークショップやパフォーマンスを行う。2017年に帰国し現在は心と身体がイキイキできるダンスをモットーに、振付師、ダンサー、ジャイロキネシストレーナーとして活躍している。（*ジャイロキネシス：バレエダンサーが考案したエクササイズ）

英語MC（司会進行）



玉川 恵（たまがわ めぐみ）
ベルギー・インターナショナル小学校
ベルギー・インターナショナル中学校 卒業
同志社大学 法学部卒業
TOEICスコア940点
ハンガリー語能力検定5級
スペイン語能力検定4級

＜主な出演＞

TUNINGROOM～featuring Osaka Shion Wind Orchestra～（a-station）
6時のわかやま（テレビ和歌山）/フロムにのみや（ベイ・コミュニケーションズ）
ほんまもん！原田年晴です（ラジオ大阪）/ふみ子・恵のうふふのふ（ラジオ大阪）
県政週刊プラスワン（びわ湖放送）/ほっとすて～しよん83.5（FMなばり）
ADSニュース（アドバンスコープ）/近場ぐるっとハンター（アドバンスコープ）
洲本温泉と淡路島の観光（サンテレビ）/チャリティーミュージックソングレポート（WBS）

◆ イベントスペース パネル設置風景



◆ 演者インタビュー



◆ 展示物（能面）



◆ 戎橋からみた会場全景



効果検証（アンケート）

アンケート①：『性別を選択してください』にて性別によって興味の度合いに差があるのかを検証。
⇒検証数が少ないので一概に言えないが、ほぼ男女同数となった。

アンケート②：『年代を選択してください』にて、年代別の興味の度合いを検証。
⇒20代～30代が約6割、次に多いのは60代となる。
「戎橋」周辺にて記念写真を撮っている年代が若年層が多いため20代～30代となった模様。

アンケート③：『国籍をお聞かせください』にて、どの地域の訪日外国人が日本伝統音楽に興味を持っているか分析。
⇒アンケート回答したのが「体験」された方となり、グループで体験されたマレーシアの方が多くなった。

アンケート④：『お住まいの地域をお聞かせください』にて、旅行中か日本在住かを確認。
⇒「戎橋」周辺は観光客が多いため、旅行中の方が約7割となった。

アンケート⑤：『今回のイベント参加は日帰りですか、それとも宿泊ですか』にて、旅行中の訪日外国人が旅の拠点を関西にしているのか、そうでないかで文化芸術を楽しむ時間があるのかを分析。
⇒約6割が「大阪府外に宿泊」京都・名古屋などに宿泊している。

アンケート⑥：『今回のイベントをどこで知りましたか』にて、どの販促が効果あったのかを検証。
⇒イベントサイト（HP・SNS）が約4割となっているが、「通りすがり」と回答する方は周辺にいた観光客と思われる。

アンケート⑦：『今回のイベントの満足度を教えてください』では、イベント全体を受けれてもらえているかを調査。
⇒アンケート回答者は、100%「体験」された方であり高評価であった。

IV.山本能楽堂特別開放

令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

●山本能楽堂特別開放

■実施目的 本特別開放では、早朝開館や着付け体験など多様なニーズに対応できるコンテンツ構築に取り組む。

- ・開催日時 : **2023年11月27日（月）～12月10日（日）08:00～11:00**（※12/3休館）
- ・会場 : 山本能楽堂（大阪市中央区徳井町1丁目3-6）
- ・イベント内容 : 『山本能楽堂 特別開放』
国の登録有形文化財である能楽堂内の自由見学（能面の特別展示、能舞台、能舞台床下の甕、鬘帯のタペストリー）、能面・能装束着付け体験、能面・能楽堂3Dモデルの紹介
- ・来場者 : 来訪者数：**138名**（うち外国人**26名**）
- ・イベント販促内容 : **HP**での紹介 <https://osaka-culture-art.com/>
SNS発信、交通拠点プロモーションによる告知、その他チラシ配布等の広報
- ・宣材物 : 山本能楽堂特別開放チラシ**15,000部**（日本語版**5,000**、英語版**10,000**）

【山本能楽堂 特別開放チラシ】

Yamamoto Noh Theater

無料
特別開放

山本能楽堂

2023年
11月27日～12月10日
午前8時～午前11時 ※12月3日は休館

国の登録有形文化財である山本能楽堂を特別に見学いただけます。おむすび開演・能楽末代子の展示・体験もお楽しみください。

〒540-0925
大阪府大阪市中央区徳井町1丁目3-6
山本能楽堂

山本能楽堂は、国の登録有形文化財である。能楽堂の歴史、能舞台、能舞台床下の甕、鬘帯のタペストリー、能面・能装束着付け体験、能面・能楽堂3Dモデルの紹介、能面・能装束着付け体験、能面・能楽堂3Dモデルの紹介

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

<日本語>

Yamamoto Noh Theater

Free
Special access

Yamamoto Noh Theater

A special access to the Yamamoto Noh Theater, a Registered Tangible Cultural Property.

Visitors can also enjoy special displays and activities, like trying on Noh masks and costumes.

8:00 a.m. to 11:00 a.m.
Nov. 27 - Dec. 10, 2023
*Closed on Dec. 3
(No reservations required except for groups of 10 or more).

1-3-6 Yamamoto, Chuo-ku, Osaka
Location: 3 min walk from Exit 4 of Tawaramachi Station, 10 min from Exit 1 of Yatai of Osaka Station, 10 min from Exit 1 of Naniwa Station and Exit 1 from Exit 1 of Naniwa Station along Yatai Street. The 10 min walk from Exit 1 of Naniwa Station is 10 min from Exit 1 of Naniwa Station.

Yamamoto Noh Theater is a National Tangible Cultural Property, and is a famous site of the Yamamoto Noh Theater tradition.

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

山本能楽堂特別開放チラシ15,000部（日本語版5,000、英語版10,000）

<英語>

■山本能楽堂特別開放 写真

◆玄関口



◆能面（特別展示）



◆顔パネル（記念写真撮影用）



◆能装束（展示用）



◆能衣装（着付け体験）



◆鬘帯のタペストリー



■山本能楽堂特別開放 効果検証

効果検証

- 特別開放時間は午前**8時**～**11時**の**3時間**であったが、**8時台**の来場者は少ない。
- 無料であるにも関わらず、外国人の来場者は少ない結果となったが、その分個々に丁寧な対応ができた。
- 能舞台に至るまでに、能の歴史がわかるような展示・紹介の工夫があった。
- 専属の英語通訳が常駐していたうえに、スタッフ全員が簡単な挨拶や会話をすることにより、おもてなし感がアップし満足度につながっている。
- 顔パネ・床の間（能の扇）などの**SNS**映えする写真スポットの設置が評価◎。
- **3D能面・3D能楽堂**を**QR**コードで読み取り、旅行終了後でも気軽にスマホで楽しめるアイテムも好評。
- 見学だけでなく通常は触れることができない能面・能衣装の着付けなどの貴重な体験も特別感がある。

V. COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演

令和5年度

「大阪の文化芸術のブランド化による
都市魅力コンテンツ価値向上事業」

事業レポート

● COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演

■実施目的 本特別公演では、夜のエンターテインメントとして文化芸術を楽しんでいただく機会を提供するとともに、多言語解説などの鑑賞環境整備も実施することにより、インバウンド受入環境整備の課題抽出等を行う。

- ・開催日時 : 2023年11月24日(金) 19:30(開場) 20:00(開演)
- ・会場 : COOL JAPAN PARK OSAKA TTホール
(大阪市中央区大阪城3番6号)
- ・ロケーション : 大阪城公園内の大・中・小の3つのホールからなる劇場型の施設、TTホール(約700名収容)
- ・イベント内容 : 『Japanese Traditional Music Concert in OSAKA 和楽器の響き』
第一部 河内音頭meets沖縄音楽
第二部 和楽器スペシャルライブ
- ・アプリ開発 : 公演に登場する和楽器などの解説を見ていただくアプリ
「Osaka Performance Info」を開発(日本語・英語)
- ・料金 : 無料
- ・来場者 : 来場者数: 445名(うち外国人205名)
- ・イベント販促内容 : HPでの紹介 <https://osaka-culture-art.com/>
SNS発信、交通拠点プロモーションによる告知、その他チラシ配布等の広報
- ・宣材物 : CJPO夜間特別公演「和楽器の響き」チラシ20,000部
(日本語版5,000、英語版15,000)
CJPO夜間特別公演「和楽器の響き」B1ポスター10部 ※うち会場内掲出3部
(英語版のみ)

【和楽器の響きチラシ・ポスター】

Japanese Traditional Music Concert in OSAKA
和楽器の響き
2023. 11.24fri 無料
COOL JAPAN PARK OSAKA TTホール
OPEN 19:30 START 20:00

河内音頭 meets 沖縄音楽
和楽器スペシャルライブ

【新】
和楽器の響き
和楽器の響き
和楽器の響き

【開催期間】令和5年11月1日(水)10時から11月23日(水)17時まで 全席無料
【観覧料】全席無料
【問い合わせ先】和楽器の響き事務局
TEL: 06-6525-4762 FAX: 06-6525-1132 / info@osaka-culture-art.com
【主催】和楽器の響き事務局
【協賛】和楽器の響き事務局

<日本語>

Japanese Traditional Music Concert in OSAKA
和楽器の響き
Resonance of Japanese Musical Instruments
Fri., Nov. 24, 2023 Free
COOL JAPAN PARK OSAKA TT Hall
OPEN 19:30 START 20:00

Part 1
Kawachi Ondo meets Okinawan Music

Part 2
Special Live Performance of Japanese Instruments

Application period: 10:00 a.m., Nov. 1 to 5:00 p.m., Nov. 23, 2023.
Seats: Approx. 400 available (first-come first-served basis).
Use the QR code or URL to apply. <https://forms.office.com/r/Lx5uZGCEA>
*The number of seats available is limited. *Reservations of seats are not possible. *The number of seats available is limited by seat.

<英語>

■ COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演 解説アプリ「Osaka Performance Info」

◆メインメニュー画面



<日本語>



<英語>

◆本日の公演概要画面

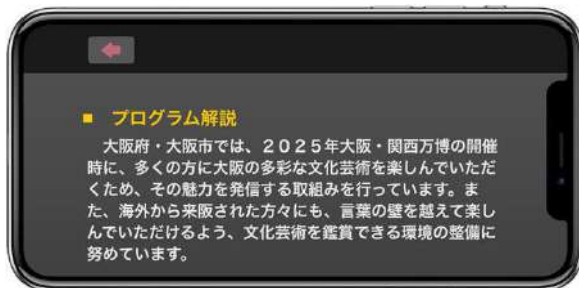


<日本語>

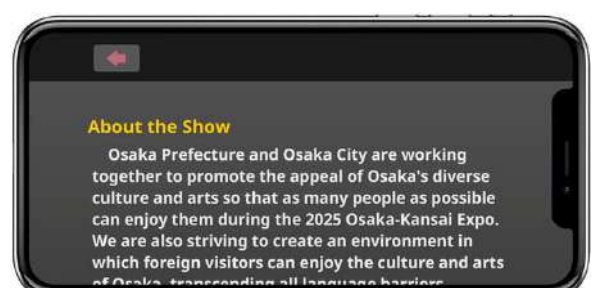


<英語>

◆プログラム解説画面



<日本語>



<英語>

■ COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演 写真

◆TTホール 受付周り



◆公演風景



■ COOL JAPAN PARK OSAKA 夜間公演 効果検証

効果検証 アンケート（アンケート回答数：124名／内外国籍58名）モニター・FAMは含まず

アンケート①：『性別を選択してください』にて性別によって興味の度合いに差があるのかを検証。
⇒女性が約6割強となり、日本人を含めても同じ結果になる。

アンケート②：『年代を選択してください』にて、年代別の興味の度合いを検証。
⇒訪日外国人は20代～30代が約7割、日本人を見ると約9割が50代以上。
大学・日本語学校など在住している外国人にもアプローチしたため、年代が若くなった。

アンケート③：『国籍をお聞かせください』にて、どの地域の訪日外国人が日本伝統音楽興味も持っているか分析。
⇒アンケート回答した外国人が少ないので、確実な数字ではないが、地域別に有意な差はなかった。

アンケート④：『お住まいの地域をお聞かせください』にて、旅行中か日本在住かを確認。
⇒アンケート回答者のほぼ9割が日本在住なので、旅行中の訪日外国人は取り込めていない。

アンケート⑤：『今回のイベント参加は日帰りですか、それとも宿泊ですか』にて、旅行中の訪日外国人が、旅の拠点を大阪にしているのか、そうでないかで文化芸術を楽しむ時間があるのかを分析。
⇒上記②でほぼ日本在住の外国人であったので、宿泊を伴っている場合は、国内旅行中と推察。
本来の調査目的には該当していない。

アンケート⑥：『今回のイベントの満足度を教えてください』では、イベントそのものを受けれてもらっているかを調査。
⇒アンケート回答者は、日本人も含めてほぼ100%高評価であった。

アンケート⑦：『今回のイベントをどこで知りましたか』にて、どの販促が効果あったのかを検証。
⇒イベントサイト（HP・SNS）が約3割となり、比較的多い中で、イベントプロモーション（キュープラザ心斎橋、とんぼりバーウォーク）の来場者かどうかまでは不明。

アンケート⑧：『夜間公演時間の設定について』にて、夜間のコンテンツの適正時間を検証。
⇒もう少し早い方がいい（約1～2時間）が約6割。小さなお子様を連れての観劇を希望されている方は早い開演時間が良いという意見があった。

アンケート⑨：『アプリ「Osaka Performance Info」を公演前に見る事で公演内容の理解は深まりましたか』にて、アプリ活用の有効性を検証。
⇒約7割が「そう思う」「ややそう思う」と答えた中で、「事前に日本楽器のことが理解できて有用だった」また、「アプリに字幕」を希望するコメントがあった。

アンケート⑩：『アプリ「Osaka Performance Info」の使用感について』にて、アプリ使用感を検証。
⇒約9割が「大変使いやすかった」「使いやすかった」「普通」という回答。
現状の使用感で概ね、評価◎

効果検証（まとめ）

- 回答数が限られており、確実な検証とは言い難いが、外国籍・日本人を含めてイベント全体の評価は非常に高く、コメントを見ると特に和楽器スペシャルライブが好評。文化芸術の中でも比較的言葉が重要でない音楽であったことが評価につながっている。
- アプリの利便性も概ね高評価で特に伝統楽器について事前に知ることにより、公演をより深く楽しめたとの意見。
- アンケートより日本人来場者は50代が約9割だが外国人は20代が最も多く若い世代に受け入れられていることが分かる。
- 現代楽器であるヴァイオリン（知っている楽器）と、和楽器（見慣れない楽器）とのコラボが良かった。
- 開演時間は20時だったが、終了したのが22時だったので、ファミリーで来場したお客様は遅いと感じる時間帯となった。